

5月11日（月）朝礼にて 校長講話

新しい学年、新しい学級が始まって1ヶ月が建ちました。心地よい緊張感を持って過ごした1ヶ月。そしてゴールデンウィークで、心と体を休めることができた人も多いと思います。1ヶ月間、みなさんの生活を見せてもらいました。どの学年も落ち着いて、いいスタートが切れたと思います。

そんな中、先週の木金と2日間、1年生が知多半島の美浜少年自然の家にオリエンテーション合宿に出かけました。3学年の最初の宿泊行事です。私も1年生と一緒についてきました。1年生は、つい最近まで小学生だった訳です。そんな1年生が、時間を守り、けじめをつけた生活をし、きちんとあいさつができる。そんな姿を見せてくれました。わずか1ヶ月で、よくぞここまで成長してくれたなど、肌で感じました。

今日は、留守を守ってくれた2・3年生の先輩達にお礼の意味を込めて、1年生の成長の証を見てもらおうと思います。どういう形かという、校歌を聴いてもらいます。もちろん、ついこの前まで歌えなかった1年生ですが、その1年生が学級で練習し、学年で練習し、オリエンテーション合宿でコンクールを開き、歌えるようになった成果を聴いて下さい。では、1年生起立。

< 1年生 校歌発表 >

1年生はここまで成長しました。もちろん、2・3年生と比べたらまだまだです。また、そうでなくてははいけません。この段階で2・3年生が負けているようでははいけません。1年生は、2・3年生に追いつけるように、2・3年生は、追いつかれないように、お互い切磋琢磨しあって、成長して欲しいと思います。

先ほど、山端先生からもお話がありましたが、日々の日常の生活の積み重ねがあって、行事でいい成果が得られる。そして、行事が終わった後、その成果を日常にどう活かせるかが大切です。これからどういう姿を見せてもらえるか楽しみにしています。

今朝、1本の電話がありました。「昨日、学区の体育祭にお手伝いに来てくれた中学生がとてもよく働いてくれました。私だけではなく、多くの役員の人たちが褒めていましたので、是非とも朝礼で紹介してあげて下さい。」という内容でした。学校の中だけでなく、地域の中でもその姿を見せて下さい。期待しています。